

令和5年度



幼稚園だより 12月号

文京区立小日向台町幼稚園

「さくら・すみれ ゆうえんち」からの広がり

園長 小岩井 聡

つい先日まで、半袖シャツで過ごせていたのが嘘のように、冬がやってきました。ただ、子どもたちは「寒い、寒い」と背中を丸めていることはありません。寒さなんかんのその、元気に遊んでいます。

ある気温がぐっと下がった日、外から戻ってきた子どもから「息が白かった！」という発見を教えてもらいました。大人だと、寒い時に、息を吐くとホワッと白くなるのは、当たり前かもしれませんが、子どもにとっては今、発見した面白い光景なのです。「そうだね、なぜだろうね？」と、その子の言葉に共感するように返事をすると、ニコツとして、部屋に戻っていきました。これからだんだん本格的な冬がやってきます。けれども、子どもたちにとって新たな発見の宝庫になるかもしれません。でも、風邪をひきやすい季節でもあります。体調には十分お気を付けください。

さて、10月の運動会が終わったころ、年長組みんなで東京ドームシティ・アトラクションズに遊びに行ってきました。その刺激を受けて、年長児が、グループでアトラクションを作り、「さくら・すみれゆうえんち」をオープンしました。

メリーゴーランド、コーヒーカップ、フラッシュラッシュ、レーザーミッション、ガンガン・バトラーズなど子どもたちなりに工夫をして、再現しておりました。

完成してからは、年中組、年少組を招待して、楽しませてあげていました。年長組も、ほかの学年を招待し、喜んでもらうことで子どもたちは充実感を感じますし、遊びに行った年中、年少組の子どもたちは、次につながる良い経験ともなります。

そんなゆうえんちごっこも、ひと段落したかなと感じていたある日、職員室から園長室に戻ろうとすると、廊下が通行止めになっていました。

たんぽぽ組が「ここはガンガンバトラーズの場所なので危ないですから、通らないでください。」と教えてくれます。年長児のゆうえんちごっこの刺激を受けて、自分たちでも、再現し、廊下で楽しんでいたのでした。年長組が作っていたのは、ゴムの鉄砲を使って、海賊を倒すというものでしたが、年少児ではゴム鉄砲は再現できません。新聞球を敵にぶつけるというアイデアを先生と一緒に考えて、自分たちができる「ガンガンバトラーズ」を楽しんでいました。

こうやって、経験が繋がっていき、それぞれの遊びになっていくことを改めて実感させられる場面でした。それとともに、年少児の年長児への憧れも強くなっていることと思います。ちなみに、その日はテラスからばら組を通して、園長室に無事に戻ることができました。

今年も残すところ、あとひと月。今年も、本園の教育活動にご協力いただきました保護者、地域の皆様に感謝いたします。

来年も子どもたちの「笑顔と元気が輝く小日向台町幼稚園」となりますよう、教職員一同邁進してまいりますので、引き続きご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

皆様、どうぞよいお年をお迎えください。

